

# 滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり 推進計画



令和4年(2022年)3月策定  
令和8年(2026年)3月改定  
滋賀県



# 目 次

(概要) 滋賀県CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会づくり推進計画	1
(本編) 滋賀県CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会づくり推進計画	3
第1章 基本的事項	
第1. 策定の背景・趣旨	3
第2. 計画の位置づけ	3
第3. 計画の性格	4
第4. 計画期間	4
第5. 定義	4
第2章 社会を取り巻く状況	4
第3章 方針と目標	6
第1. 基本方針	6
第2. 滋賀県が目指すCO <sub>2</sub> ネットゼロ（2050年）の姿	6
第3. 振り返りと課題	8
第4. 中期ビジョン ～2040年の中期目標～	9
第4章 CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦	
第1. CO <sub>2</sub> ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換	14
第2. 自然環境と調和するCO <sub>2</sub> を排出しない地域づくり	15
第3. 新たな価値を生み出し競争力のある産業の創出	17
第4. 資源の地域内循環による地域の活性化	18
第5. 革新的なイノベーションの創出	20
第6. CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出と行動変容	21
第7. 気候変動への適応	23
第8. 県における率先実施	24
第5章 推進にあたって	
第1. 推進体制等	28
第2. 市町との連携	28
目標達成に向けた行程	29
用語集	32
計画策定の経過	38
滋賀県CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例の概要	41

# 滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進計画（概要）

## 第1章 基本的事項

### ◆ 策定の背景・趣旨

- ・地球温暖化によるここ数十年の気候変動は、自然環境や生態系への影響、自然災害や健康被害などの様々な課題を引き起こしており、温室効果ガス排出削減に向けた取組は世界中に広がっている。
- ・2050年の「CO<sub>2</sub>ネットゼロ」の実現に向けた取組を通じて、地域の持続的な発展をも実現する「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり」を推進し、より豊かな滋賀を次の世代に引き継いでいくため、2022年3月に「滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進計画」を策定。
- ・2025年2月に国において「地球温暖化対策計画」や「エネルギー基本計画」等が改定され、新たな削減目標が掲げられたことなどを踏まえ、長期的に「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり」を着実に推進するため、計画の見直しを行う。

## 第2章 社会を取り巻く状況

世界・国	滋賀県
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多発する自然災害、生態系の変化</li> <li>・脱炭素化に向けた産業の転換</li> <li>・AIなど情報通信技術の進化</li> <li>・ロシアのウクライナ侵攻</li> <li>・化石燃料からの脱却</li> <li>・再生可能エネルギーの拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖の全層循環が確認できない現象</li> <li>・CO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメントキックオフ宣言</li> <li>・MLGsの推進</li> <li>・「世界湖沼の日」が国連総会で採択</li> <li>・生物多様性しが戦略2024策定</li> <li>・伊吹山での土砂災害</li> <li>・記録的なアユの不漁</li> </ul>
<b>2040年度までの温室効果ガス排出量削減目標を設定</b>	

## 第3章 方針と目標

### ◆ 基本方針：2050年CO<sub>2</sub>ネットゼロの実現

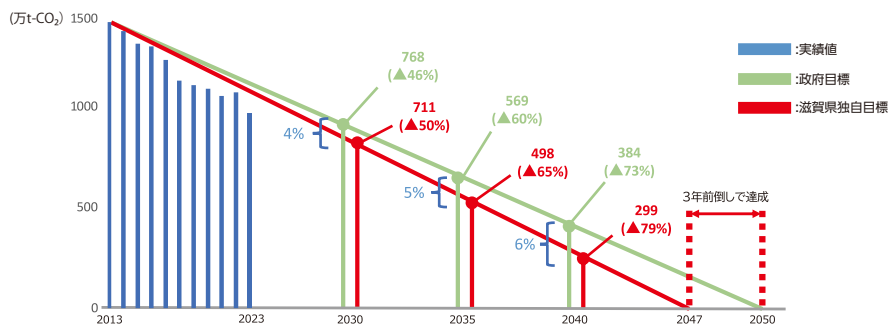
～地域や経済の成長につながる CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現～

### ◆ 中期目標：2040年の中期目標

※ これらの目標に満足することなく、県民や事業者等の皆様とともに、さらなる高みに向けて挑戦していく。

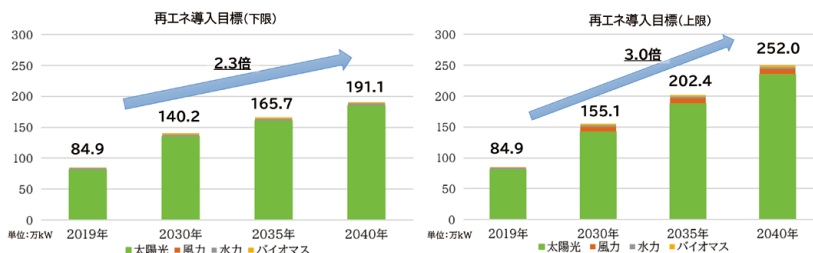
**温室効果ガス  
排出量削減目標**

2013年度**1,422**万t-CO<sub>2</sub> ⇒ 2040年度**299**万t-CO<sub>2</sub> (▲**79%**)



**再エネ  
導入目標**

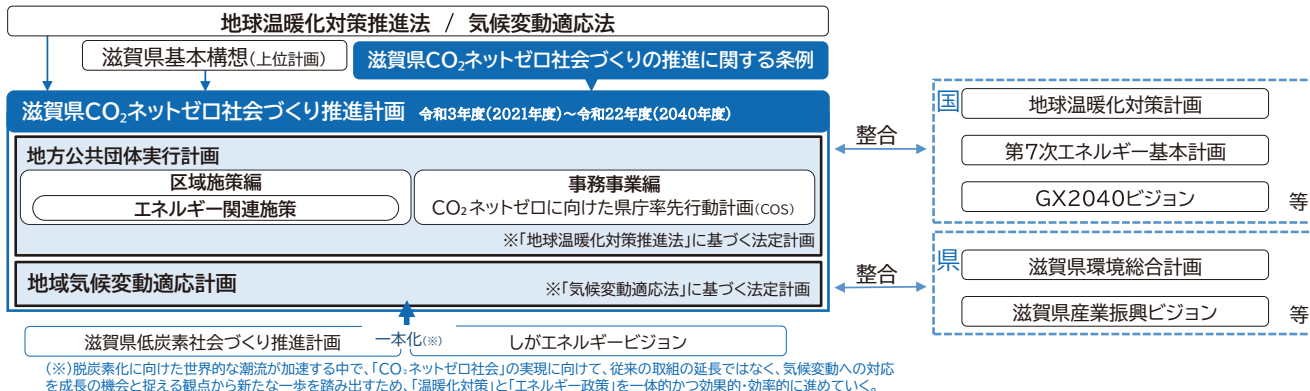
2019年度 84.9万kW(実績) ⇒ 2040年度191.1～252.0万kW



**温室効果ガス  
吸収量の目標**

【森林】2040年度20万t-CO<sub>2</sub>  
【農地土壌炭素吸収源対策および都市緑化等の推進】2040年度5万t-CO<sub>2</sub>

## ◆ 計画の位置づけ



## 第4章 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦

### CO<sub>2</sub>を排出しない社会づくり

#### 第1. CO<sub>2</sub>ネットゼロにつながる快適なライフスタイルへの転換

省エネ住宅の普及、再エネの導入  
次世代自動車等の普及 など

家庭



次世代自動車



ソーラーパネル  
(河西幼稚園)



せっけん運動



水草刈り



菜の花プロジェクト

吸収源  
確保

産業

まち  
づくり



環境こだわり  
農産物

#### 第2. 自然環境と調和するCO<sub>2</sub>を排出しない地域づくり

事業活動の省エネ化再エネ導入、過度に自動車に依存しないまちづくり  
林業の成長産業化、持続可能な農業の拡大 など



近江商人

#### 第5. 革新的なイノベーションの創出

水素エネルギー利活用の促進  
エネルギー分野の専門人材育成 など

研究



ヨシ刈り

#### 第6. CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出と行動変容

しがCO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメントの拡大  
MLGsの推進、環境学習、子ども・若者との連携 など

普及  
啓発

#### 第3. 新たな価値を生み出し競争力のある産業の創出

CO<sub>2</sub>ネットゼロ産業の振興  
グリーン投資の拡大 など

新産業  
の創出

#### 第4. 資源の地域内循環による地域の活性化

エネルギーや農林水産物の地産地消  
廃棄物の発生抑制・有効利用 など

地域内  
循環

#### 第7. 気候変動への適応

気候変動に強い産業等の育成  
県民のリスクへの備え など

適応策

#### 第8. 県における率先実施

公共施設の省エネ化の推進  
公用車の電動化の推進  
購入電力のグリーン化 など

### 地域・経済の活性化

#### 重点取組① 再エネ導入・省エネ推進

- 太陽光発電および蓄電設備の導入拡大
- ZEH化支援
- サプライチェーンの脱炭素化 等

#### 重点取組② イノベーションの創出

- ペロブスカイト太陽電池の率先導入
- 水素社会づくりの推進
- 地域活性化につながる新技術開発・実装 等

#### 重点取組③ 吸収源の確保・維持

- 森林等の温室効果ガス吸収源の確保、拡大
- CO<sub>2</sub>固定コンクリートなど新たな吸収源の確保 等

#### 適応策

- 農林水産業に関する取組 (気候変動に適応した栽培等)
- 自然災害・健康に関する取組 (災害・熱中症対策等)

## 第5章 推進にあたって

- ◆ 推進体制:しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ推進本部による推進
- ◆ 市町との連携:「促進区域」の設定の推進

